

みんなで・楽しく・気軽にちよっとずつのボランティア

ちよぼら

No.27
(2012.3)



2/19 ふくおか“きずな”フェスティバルに行ってきました

年1回、県内のボランティアが福祉やボランティアに関するさまざまなテーマで研修・交流することを目的としたふくおか“きずな”フェスティバルに、大刀洗町からはボランティア連絡協議会をはじめボランティアセンター・子ども見守り隊計18名が参加しました。今年は東日本大震災前から津波防災教育に取り組んでこられた群馬大学・片田敏孝氏による災害をテーマとした講演と分野別の分科会が催されました。

(P 2に関連記事)



●ふくおか“きずな”フェスティバル報告

「想定を超える災害に どう備えるか」

片田敏孝氏の講演を拝聴して

大刀洗町ボランティアセンター長
柳 邦彦

この講演で強く心に残ったことは、片田氏が釜石市で取り組んでこられた津波防災

教育の素晴らしさです。2011年東日本大震災において、釜石市の小中学生のうち学校に居た児童・生徒については全員の無事が確認されました。これは「釜石市の奇跡」といわれています。では、片田氏は平成16年から児童・生徒にどのようなことを伝えてこられたのでしょうか。それは「自らの命を守ることに主体的であれ」ということ。そして「想定にとらわれるな・最善を尽くせ・率先避難者たれ、という避難3原則」です。子どもたちは、大津波に気づき、すぐに逃げ出します。小中学生助け合い、励ましあって懸命に逃げます。避難所を2か所も3か所も変え、その時出来るすべての行動をとり、大津波災害から生き抜いたのです。子どもを中心とした防災教育は、子どもを介して家庭に地域に浸透し、地域に災害文化として根付くことになると強調されました。これからの「人が死なない防災」は如何にあるべきか、我が大刀洗町でも防災に対してどう取り組んでいくべきか、色々考えさせられる講演でした。

ボランティア交流会の研修を終えて

ボランティア連絡協議会 会長 福村 千代美

今年の研修は、近隣ボランティアの方々との交流ということで、筑後市のボランティア連絡協議会を訪れました。筑後市はボラ連を設立して28年、その長さにも驚き、年間の活動内容が充実していることに衝撃を受けました。

さまざまな福祉のテーマでセミナーを主催したり、月1回みんなで集える場所として福祉センターの一室を開放したり。また、年一回ボランティア同士の交流会として開催する「ふれあいひろば」は今年で28回を数えるそうです。そして、今回の震災を教訓に地元の災害や防災に関する情報を資料集として冊子にまとめ配布するなど、すごいなぁと感心することしきりでした。

それでも、私たちが上げる課題や問題点は同じように持っていて、試行錯誤の連続だというお話をきくと、ちょっと安心したり親近感が湧いたり、短い時間でしたが満足のいく交流会になったと思います。私たちも、もっと心を開放して既成概念にとらわれず、心と心のつながりを大切にしてゆきたいと思いました。



「ほくは3まい、わたしは5まい」

風の子文庫 代表 平川 由利



2月4日のかるた会で、子どもたちのはずんだ声と笑顔に出会えました。

私が受け持った保育園児グループは、まだ字が読めない子どもがほとんど。

それでも「たべものかるた」や「どうぶつかるた」などの絵をみて十分楽しんでくれました。

「取れなくても泣かないってお約束しようね」との言葉かけで始まったかるた会ですが、たくさん

取った子が少ない子に譲る場面も見られ、とても嬉しいひとときでした。

七夕会やクリスマス会、かるた会と年3回の図書館イベントに、私たち読み聞かせボランティアも協力して関わっています。どうしたら子どもたちが気楽に集まって喜んでくれるか、みんなで知恵を出し合い、絵本の読み聞かせだけでなく人形やパネルシアターを作ったり、色々工夫をしています。

皆さんも子どもたちと楽しいひとときを過ごしてみませんか？

思わぬ発見があって、なかなか良いものですよ。



子ども見守り隊について

子ども見守り隊隊長 中島 誠



子どもの登下校の通学路における、安心・安全を見守るボランティアの募集が平成17年にあり、平成18年4月には代表者及び各校区の代表者の組織ができました。

できる人が・できる時に・自主的に活動が実施されています。

学校と連携し、PTA 役員、保護者・地域の方々と交流しながら、子どもの安心・安全を見守ることが大切であると強く感じています。

見守り隊で子どもたちとのふれあいで、我々大人も色々教えられるものがあります。小学生の時に挨拶をしている子は、中学生になっても挨拶してくれます。我々はそんな時にやりがいを感じ、力をもらっています。

大刀洗町全体のため、できる人ができる時に参加され、健康のためにも仲間を作って一緒に活動しませんか。ひとりでも多くの方のご参加をお願い申し上げます。

NHK 原田 徹アナウンサーと学ぶ 朗読の楽しみ



講師：原田 徹さん

3月17日（土）、NHK北九州のチーフアナウンサー。発声の基礎から朗読の仕方まで分かりやすくご指導頂く、毎回人気の学習会です。興味のある方はお気軽にご参加ください。

日 時：3月17日（土）
午前10：00～12：00
会 場：ぬくもりの館（役場東側）
申込み：大刀洗町社会福祉協議会
TEL77-4877
締切り：3月15日(木)

だっこDeブック

楽しく遊んで 楽しく子育て



絵本・わらべ唄で遊びのすすめ

子どもは遊びの中からたくさんの事を学びながら育ちます。

0才～1才～2才と、だんだんやんちゃになっていく子どもとどう遊ぶ？

保育の現場の先生と一緒に遊んでみましょう。

講師：法林学園アソカ幼稚園教頭
岡村 美栄子 氏

①おはなし会10:30～11:00

②講演 11:10～12:00

乳幼児とその保護者、子育てボランティア、その他関心のある方、ぜひご参加下さい！

申込み・連絡先：お話ほっとたいむ

阿部 080-1741-5104

募集しています！

広報たちあらいの録音CD

対象者：視覚障がい者の方
や高齢者など

内 容：毎月月上旬にお届け（無料）

申込み・問合せ先：大刀洗町社会福祉協議会 TEL77-4877

※対象となられる方が身近におられたら、どうぞこの情報をお伝え下さい。



配食サービス青い鳥のお弁当

対象者：お一人暮らしの高齢者・高齢者だけでお
住まいの世帯・障がいをもった方など

内 容：月2回夕食
1食300円(材料費)



～スマイルからのメッセージ～

「ちょぼら」のネーミングで発行を始めたボランティア広報誌も今回で27号。9年前、2色刷りだった誌面もフルカラーに変わりました。「町内で活動されているボランティアのみなさんを応援したい」という想いで毎号編集しています。ひとりひとりがちょっとずつ自分に出来るボランティアをすることで大きな力となり、優しく温かみ溢れる町・誰もが安心して暮らせる町になると信じています。これからも私たち編集ボランティア・スマイルは、がんばるボランティアさんをドンドン紹介していきますのでご期待下さい！ ボランティアに関する情報もおよせ下さいネ！

ボランティア活動に関する情報、ご意見、
ご感想、お問い合わせは、

「大刀洗町ボランティアセンター」まで

TEL:0942-77-4877 FAX:0942-77-4877

編集スタッフ

スマイル



代表 川 端 好 江
福 村 宮 生
福 村 千代美
戸 塚 幹 栄